

グリーンフォースL

特長

- グリーンフォースLは、農園芸用培養土(ピートモスやバークを主体にした培養土)の撥水性を抑え、水の浸透性を改善し、培養土中の水分分布を均一にする培養土専用界面活性剤です
- 従来の培養土専用界面活性剤に比べ、長期間持続し培養土の撥水性を抑えます
- 培養土メーカー向けの資材です。培養土の製造時に希釈液を処理します

国産の界面活性剤を配合、高い安全性を有します

【調査方法】

各剤を混合した培養土をセルトレイに充填、各作物の種を播種、栽培し、約1か月後に生育状況を観察した

※培養土組成；

ピートモス：バークライト：パーライト = 6：2：2

界面活性剤の種類によっては、発芽や生育に悪影響を及ぼします。本剤は植物の発芽や初期生育に対して**高い安全性を有します**。(その他に、タマネギ、レタス、コマツナでも安全性を確認済)

処理量

なし

標準量

(100 ml / m³)

2倍量

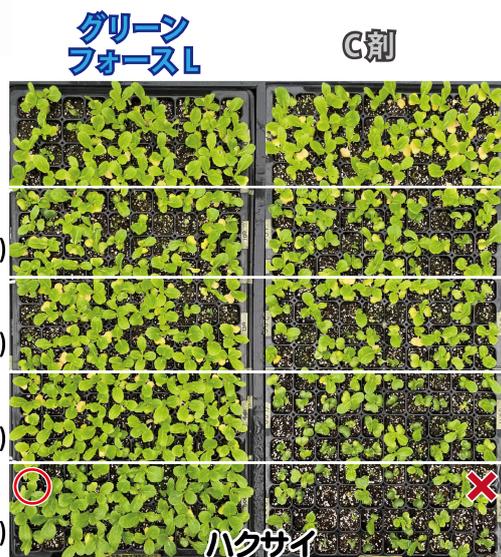
(200 ml / m³)

4倍量

(400 ml / m³)

8倍量

(800 ml / m³)



ハクサイ

成分

非イオン性界面活性剤

性状

無色のやや粘性を有する透明液体

使用方法

対象培養土	標準使用量 (培養土 1 m ³ あたり)	処理方法
ピートモスやバークが主体の 軽量培養土 (土の割合が低い培養土)の予防	100 - 200 ml	培養土 1 m ³ 当たり 10~20 l の水に溶かして、培養土にスプレーしながら混合攪拌してください

注意事項

- 表示の用途以外には使用しないでください
- 使用量を守ってご使用ください、使用前に試験することをお勧めします
- 高濃度で液肥と混合する時は、少量を混合して物性の変化がないことを確認してからご使用ください
- 希釈液が白く濁ることがありますが、品質、効果には問題ありません、よく攪拌してご使用ください
- 希釈液はその日のうちに使用してください
- 作業中は保護眼鏡、手袋を着用し、本剤や希釈液が眼や皮膚に付着しないように注意してください
- 皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗い、皮膚刺激が続く場合は医師の診断/ 手当を受けてください
- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯をしてください
- 眼に入った場合は水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続け、眼の刺激が続く場合は医師の診断/ 手当を受けてください
- 作業後は手足、顔などを石鹸で洗ってください
- 密栓し、直射日光を避けて冷涼な場所に保管してください
- 小児の手の届くところや、飲食物と同じ場所に置かないでください
- 空容器は水洗いして適切に処分してください

ラベルに表示された使用方法以外の使用で生じた損害に関しては一切の責任を負いかねます
本品の使用が原因で生じた一切の損害については、損害を発生させた本品のご購入代金を補償の上限とさせていただきます

販売店



株式会社

芝用・農園芸用薬剤の開発と輸出入

トモグリーンケミカル

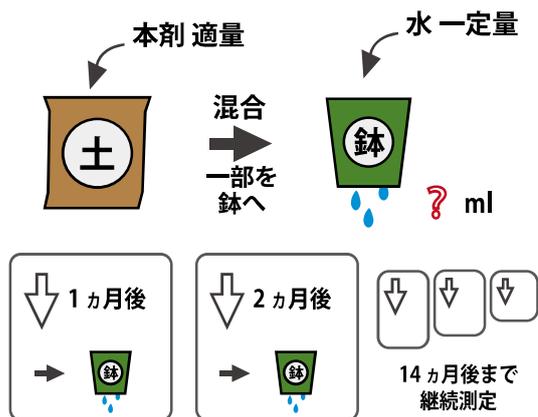
〒420-0816 静岡県葵区沓谷 5 丁目 9-12

TEL 054-264-2151 FAX 054-264-2153

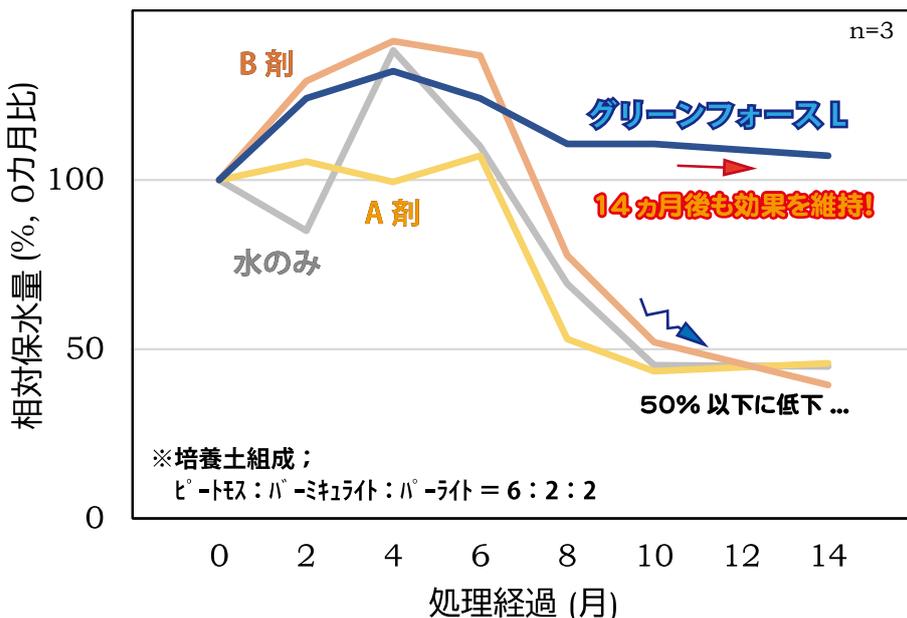
<https://www.tomo-green.com>

グリーンフォースLは、培養土の撥水性を長期にわたって軽減します

【調査方法】



培養土用界面活性剤を混合した培養土の一部を取り出し、鉢に充填した。鉢に一定量の水を加え、鉢の下部から出た水量を測定、加えた水量から差し引くことで土に含まれる水量（保水量）を算出した。この測定を毎月行うことで培養土用界面活性剤の残効性を調べた



培養土混合後、半年経過まではどの剤でも保水量に変化はありませんが、その後の他剤ではいずれも大きく低下しています。グリーンフォースLは1年経過後も撥水性を抑え、培養土の吸水を助けることができます。

グリーンフォースLは、様々な組成の培養土で撥水軽減効果を発揮します

【調査方法】

使用する培養土のピートモスの割合を変え、上記と同様の試験により保水量を調べた

※培養土組成；
ピートモス含有量を元にバミキライト、パーライトを等量ずつ配合

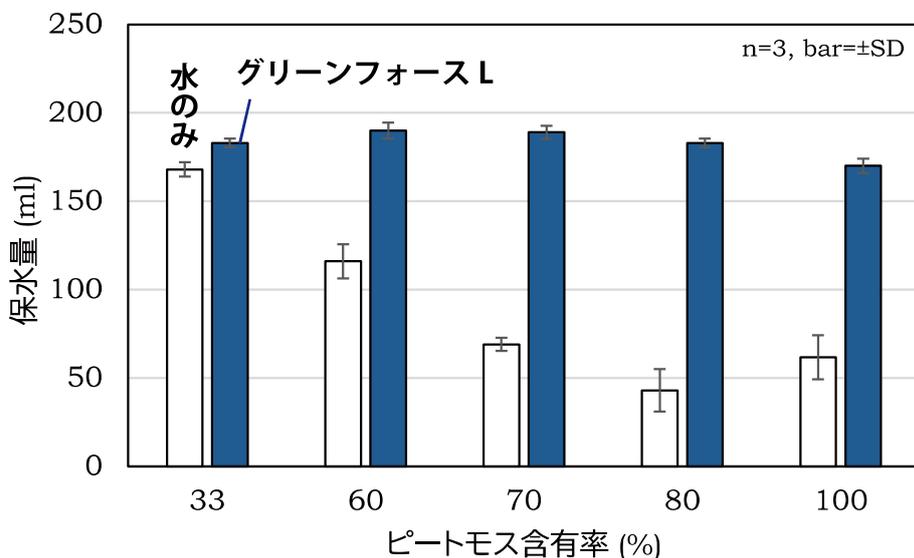
試験後に鉢から出した様子
(ピートモス80%の場合)



水のみ

グリーンフォースL

▲ 水が培養土に浸み込んでいないと崩れてしまう（左：水のみ）
しっかりと水が浸み込むことで土は形を維持した（右：本剤処理）



▲ ピートモスの割合を33~100%まで、様々な組成に変更しました。ピートモスが多いほど撥水性は高くなりやすいため、水は浸み込みにくくなり、保水量は低下していきます。グリーンフォースLはどの組成でも安定した保水量を確保することができます。



株式会社

芝用・農園芸用薬剤の開発と輸出入

トモグリーンケミカル

〒420-0816 静岡市葵区沓谷5丁目9-12

TEL 054-264-2151 FAX 054-264-2153

<https://www.tomo-green.com>